



平川 秀三 医師  
(吉備医師会から)

新型コロナウイルス感染症は、連日マスメディアやインターネットで取り上げられ、情報はリアルタイムで更新されています。

2019年12月、中国の武漢市で発生した新型肺炎は、武漢市での医療崩壊を招きました。その後、欧州・インド・南アフリカでの新しいコロナ株報告がありました。当初、若年者に感染者が少ないことから、若年者は

今月のテーマ  
新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症の近況

感染しないと推測されていますが、現在では、ウイルスが変異し若年者にも多い状態です。

ウイルスは細菌と違って自ら増殖できず、人の細胞の中で増殖します。コロナウイルスは飛沫接触感染や目・鼻・口からのエアロゾル感染で生体に侵入します。最近では、ウイルスの生存期間は皮膚では21時間と報告されています。従来より感染率が高く、重症化率の低いウイルスに変異してきました。これはウイルス内の1万以上の核酸の中から、50以上の核酸が置き換わった結果だと考えられます。

ウイルスの侵入を阻止するのは抗体です。従来のワクチンは武漢市の株を元に作成され、オミクロン株には効果が低い状況です。オミクロン対応のワクチンを接種すれば、感染予防効果が大きいと期待されます。現在、海外では、流行しているウイルスへの有効なワクチンが作成されたため、コロナ感染症の規模は徐々に小さくなっていると言われています。

私たちが感染対策のためにできるのは、三密防止（密集・密閉・密接）です。適度な換気や適切なマスク装着に努めましょう。

問い合わせ 健康医療課健康増進係 (☎ 0866-92-8259)

安全・安心  
総社署からのすすめ

年末年始は、忘年会や新年会などでお酒を飲む機会が多く、飲酒運転による交通事故が懸念される時期です。また、気持ちの焦りから、安全運転を怠り、スピードを出しすぎて交通事故が増加する傾向があります。

次のことを徹底して、交通事故のない明るい年末年始を過ごしましょう。

◆飲酒運転は絶対禁止

忘年会などで飲酒する場合は、

飲酒運転の根絶と年末年始の交通事故防止

車を運転して飲酒会場へ行ってはいけません。車で行き帰りする場合は、ハンドルキーパー（お酒を飲まずに行き帰りを運転する人）を決めておきましょう。ハンドルキーパーは絶対にお酒を飲まないようにしましょう。

◆自転車も車です

自転車の飲酒運転も禁止されています。酒酔い運転には5年以下の懲役か100万円以下の罰金が科されます。

◆速度を抑え、安全運転を心掛けましょう

気持ちが焦っているときは、安全確認がおろそかになります。また、スピードが出やすく、重大

事故に直結する可能性があります。焦っているときこそ、安全確認を行い、速度を抑えましょう。

◆早めのライト点灯

夕方から交通事故が多発する傾向にあります。午後4時からのライト点灯を心掛けましょう。

◆ライトは上向きが基本

ライトの向きをこまめに切り替えて、歩行者や自転車を早く発見しましょう。

◆夜光反射材を着用しましょう

夜間、車からは歩行者や自転車が見えにくくなります。夜光反射材を着用して、自分の存在をしっかりとアピールしましょう。

監修・問い合わせ 総社警察署 (☎ 0866-94-0110)

議会

11月臨時市議会を開催

問い合わせ 総務課行政係 (☎ 0866-92-8218)

新庁舎建設に係る補正予算が可決



新庁舎の完成予想図 (イメージ)

11月1日、臨時市議会が開催され、令和4年度一般会計補正予算などが原案どおり可決などされました。

一般会計補正予算は、令和6年度中の完成を予定している新庁舎の建設工事に関する経費に1億9200万円の増額。昨今の急激な物価高騰を踏まえ、資材などの単価を最新のものと見直しを行ったところ、今年度執行予定の事業費が既決予算を上回る見込みとなりました。また、令和5年度以降に執行される事業費は2億8800万円の増額が見込まれていることから、新庁舎の建設工事に係る事業費は、全体として4億8000万円の増額となります。

企業版ふるさと納税として総社市へ寄付いただきました

企業版ふるさと納税により、本市に寄付をいただいた企業を紹介します。

- 企業名 (本社所在地) 株式会社イリエ (津山市)
- 寄付金額 10万円
- 活用事業 誰もが安心して住みたくなる総社事業



写真左から、ギフトランドイリエ岡山総社店店長の佐々木久美子さん、市長、同店主任の鹿嶋敏男さん

問い合わせ 魅力発信室 (☎ 0866-92-8211)

新型コロナウイルス関連情報

オミクロン株対応ワクチン

初回接種(1・2回目)を完了した12歳以上の人を対象に、オミクロン株対応ワクチンの接種を実施しています。

ワクチン接種間隔の短縮

オミクロン株対応ワクチンの接種可能な間隔が、

**3カ月になりました。**

ぜひ、年内の接種を検討してください。

ワクチン接種についての詳細はこちらから



乳幼児へのワクチン接種開始

11月から市内の医療機関で、乳幼児(生後6カ月～4歳)への接種が始まっています。詳細は、市ホームページで確認できます。

同時流行への備え

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時流行すると、医療機関がひっ迫する可能性があります。ワクチンの接種を受け、新型コロナ抗原定性検査キットや解熱鎮痛薬などの準備をしましょう。

問い合わせ 市ワクチンコールセンター (☎ 0866-92-8356)